《読むこと―文学・詩》系統表

巻	上（入門期　基本編）	指	下	指
1年生	くまさんと　ありさんの　ごあいさつ あいうえおの　うた　まど・みちお　詩 がぎぐげごの　うた　まど・みちお　詩 おおきな　かぶ　ロシア民話　内田　莉莎子　訳 けんかした　山　安藤　美紀夫　文	C(1)ア C(1)ウ C(1)ア C(1)ア C(1)ウ C(1)ウ	いろんな　おとの　あめ　岸田　衿子　詩 こねこを　だいた　こと　ある？　長谷川　摂子　詩 うみへの　ながい　たび　今江　祥智　文 ●こえに　だして　よむ りすの　わすれもの　松谷　みよこ　文 ●した　ことを　かんがえる 「おはなしどうぶつえん」を　つくって、本を　しょうかい　しよう お手がみ　アーノルド＝ローベル　文　三木　卓　訳 ●ようすを　おもいうかべる	C(1)ア C(1)ア C(1)ウ C(1)ウ C(1)カ C(1)ウ
2年生	つくし　だれの　子　わらべうた おてだまうた　わらべうた ※導入単元 「えいっ」　三木　卓　文 ●とうじょう人物 きつねの　おきゃくさま　あまん　きみこ　文 ●くりかえしの　ある　お話を　読む わにのおじいさんのたからもの　川崎　洋　文 ●登場人物の考えをそうぞうする	C(1)ア C(1)ア C(1)ウ C(1)ウ C(1)ウ C(1)オ C(1)ウ	てんとうむし　川崎　洋　詩 せかいじゅうの海が　マザーグースのうた　水谷　まさる　訳 かさこじぞう　岩崎　京子　文 ●声を合わせて読む ないた赤おに　浜田　廣介　文 ●登場人物がどのようにかわるのか 「お話びじゅつかん」を　作ろう アレクサンダとぜんまいねずみ　レオ＝レオニ　文　谷川　俊太郎　訳 ●あらすじをまとめる	C(1)ア C(1)ア C(1)ウ C(1)ウ C(1)カ C(1)ウ
3年生	かえるのぴょん　谷川　俊太郎　詩 ※導入単元 白い花びら　やえがし　なおこ　文 ●場面に気をつける のらねこ　三木　卓　文 ●人物のせいかくを考えながら　読む わすれられないおくりもの　スーザン＝バーレイ　文　小川　仁央　訳 ●題名を考える	C(1)ア C(1)ア C(1)ウ C(1)ウ C(1)ウ C(1)オ C(1)ウ	モチモチの木　斎藤　隆介　文 ●短い文がつづくひょうげん 「おすすめ図書カード」を活用しよう 夕日がせなかをおしてくる　阪田　寛夫　詩 ゆうひのてがみ　野呂　昶　詩 いちばんぼし　まど・みちお　詩 おにたのぼうし　あまん　きみこ　文 ●場面のうつりかわりと登場人物の気持ちの変化	C(1)ウ C(1)ウ C(1)カ C(1)ウ C(1)ウ C(1)ウ C(1)オ
4年生	春のうた　草野　心平　詩 ※導入単元 白いぼうし　あまん　きみこ　文 ●会話文と地の文 ぞろぞろ（落語）　三遊亭　円窓　文 ●「音読記号」を使って音読する 一つの花　今西　祐行　文 ●感想文の書き方（例）	C(1)ア C(1)ア C(1)ウ C(1)ウ C(1)ア C(1)ウ C(1)ウ C(1)オ	ごんぎつね　新美　南吉　文 ●情景を読む 「読書発表会」をしよう いろいろな詩　ニンジン／ケムシ／ミミズ　まど・みちお　詩 ヘビ／ミドリカナヘビ　ジュール＝ルナール　詩　佃　裕文　訳 おおきな木　島田　陽子　詩 とびばこ　だんだん　藤　哲生　詩 木竜うるし（人形げき）　木下　順二　文 ●きゃくほんのつくり	C(1)ウ C(1)エ C(1)カ C(1)ウ C(1)ウ C(1)ウ C(1)ウ C(1)ウ
5年生	水平線　小泉　周二　詩 ※導入単元 いつか、大切なところ　魚住　直子　文 ●心情を読む 大造じいさんとがん　椋　鳩十　文 ●「山場」を考える	C(1)ア C(1)エ C(1)エ C(1)エ C(1)エ C(1)オ	素朴な琴　八木　重吉　詩 鳴く虫　高橋　元吉　詩 はたはたのうた　室生　犀星　詩 雪　三好　達治　詩 雪わたり　宮沢　賢治　文 ●表現のくふうを読む 「図書すいせん会」を開こう みずゞさがしの旅――みんなちがって、みんないい　矢崎　節夫　文 ●ノンフィクション	C(1)エ C(1)エ C(1)エ C(1)エ C(1)エ C(1)カ C(1)ウ C(1)オ
6年生	風景　純銀もざいく　山村　暮鳥　詩 紙風船　黒田　三郎　詩 ※導入単元 薫風　黛　まどか　文 「迷う」　日高　敏隆　文 ●随筆を読む 川とノリオ　いぬい　とみこ　文 ●すぐれた表現を読む	C(1)ア C(1)エ C(1)ア C(1)エ C(1)イ C(1)ウ C(1)ア C(1)エ	イナゴ　まど・みちお　詩 きつねの窓　安房　直子　文 ●構成の工夫を読む 私の大切な一冊 伊能忠敬　国松　俊英　文 ●伝記を読む 君へ　日野原　重明　文・詩 ※卒業単元	C(1)エ C(1)エ C(1)エ C(1)オ C(1)エ C(1)オ C(1)オ C(1)カ

指……学習指導要領に示された指導事項のうちの重点指導事項

●……「ここが大事」で扱っている内容

は、読書体験を交流するための読書教材